



夢っくすニュース

かわらばん U.MEX

かまくら、鳥追いで雪国の文化を体験 ～留学生と六日町雪祭りに参加しました～



雪空に上がる花火に歓声の参加者、後ろのテントは夢っくすの交流ブース

新潟県六日町地域振興事務所より「外国人観光客受け入れ体勢整備事業」を受託し、2月14日六日町雪祭りに留学生約70名と共に参加しました。この事業は、国際化が進む中で魚沼の新たな観光戦略を検討するため、留学生の視点から雪祭りの感想を聞こうという主旨です。国際大学に学ぶ50数カ国からの留学生は、魚沼を広く世界に広報するうえで貴重なリソースです。しかし、彼らが魚沼をより良く深く理解するためには、通訳やコーディネーターが必要であり、今回夢っくすはその役割を果たせたことを嬉しく思います。以下は参加した留学生の感想を紹介します。

I enjoyed the festival very much. I appreciated the opportunity to have a better insight of the Japanese culture, especially the culture of local people in various snowy regions around Japan. It was my first time and a wonderful experience for me to gather with friends in a kamakura, around the fire, enjoying "mochi" and "sake" and sharing in our "kimochi". I also got excited at the performances on the stage, especially the Japanese traditional dances, music and costumes. I was impressed by the sculptures made of the snow (the house, the car, the kamakura, etc.). I was happy with the festival though the rain and chill that night made me feel so frozen! (Ms. Huynh Mai Houng)



冷たい雨が降ってもインド風特製ミルクティーで温まりました。

雪祭りは大変楽しかったです。日本の文化、中でも雪国に住む人たちの文化ををより深く知る機会を設けてくださった皆さんに感謝します。初めての体験でしたが、友達とかまくらに入ったり、焚き火の周りでお餅やお酒を、皆の温かい気持ちと共に楽しむことができ、大変すばらしい体験でした。また舞台での様々なパフォーマンス、特に日本の伝統的な踊り、音楽や衣装にも興奮しました。家、車、かまくらなどの雪像も印象に残っています。凍えるほど寒い雨の夜でしたが、それでもお祭りには大変楽しかったです。(ホウンさん/ベトナム)

●新会員の紹介

- 207番・八木洋子 (守門村)
 - 208番・永瀬正子 (守門村)
 - 209番・関矢遼一 (小出町)
 - 210番・大出恭子 (六日町)
 - 211番・根津いずみ (塩沢町)
 - 212番・小島由美 (堀之内町)
 - 213番・大滝あつ子 (大和町)
 - 214番・桜井徳治 (六日町)
 - 215番・中島貴裕 (六日町)
- よろしくお祈りします

It was very nice festival. I like the castle very much and also the shows. I was wondering how hard the local people built the beautiful castle from a very cold snow. I was impressed by the effort of the local people very much. They built it by hearts and just for the festival night. I feel glad to have chance to see and if next year they will have it again I will go there again. (Ms. Wannila Thongchan)

大変すばらしいお祭りでした。私は雪の城とショーが気に入りました。大変冷たい雪からあそこまで美しい城を作り上げるため、地元の人たちはどれほど苦労をされたのでしょうか。心をこめ、祭りの夜のためだけに作るという、地元の人々の努力が印象に残っています。この祭りを見る機会があつてとてもよかったですし、また来年も開催されるなら、ぜひまた行きたいと思えます。(ラーさん/ラオス)



サムライのお兄さんも夢っくすテントを訪れました。留学生に大人気!



朝倉医院の雪像ステージでは、雪国の文化を感じる鳥追いのパフォーマンス

サロン部会

●サロン部会よりお願い

サロン部会では、今まで火曜日と金曜日の昼と夜にサロンを開けていましたが、4月より金曜日の昼間にサロンの鍵を開けてくださる方がいなくなってしまい、やむなく金曜日の昼のサロンを閉めなくてはいけなくなってしまいました。ただ、今まで頑張ってきたので少し残念なような気もしております。どなたか毎週ではなく月に一度とか、何人かのグループでの持ち回りとかでサロンのお手伝いをして頂ける方がいらっしゃいましたら事務局、または高橋までご連絡ください。多くのメンバーの方が参加頂ければ、UMEXも益々楽しい会になると思っております。(高橋)

●母国紹介フィンランドの報告(2/13)

フィンランドの交換留学生セッポさんは、日本語がとても上手です。フィンランド語とオーロラの話をしていただきました。フィンランド語は、日本語ととてもよく似ているようですが、動詞がナント135通り?にも活用するとのこと。だから一語ですべて通じるとか。オーロラの不思議は、ご自身でパソコンの機能を駆使した力作。プロジェクターを使っての大画面での映像同様、サロン内に拍手と歓声が響きしばし夢心地でした。トナカイもフィンランドでは大切な食用だそうです。でも、サンタクロースが出かけられないと世界中の子ども達が悲しむので、気をつけて食べています。と、とても大きなセッポさんが、可愛らしく話してくれました。2月27日(金)の日本文化紹介は、ニュースレターをご覧ください。(坂西)

●サンヨー、サンヨー、裸押し合い祭りレポート・ハウさん(ベトナム)

Before coming to IUJ, I already heard about the Naked Man Festival. To me, it was just one of the many Japanese festivals. It has however totally changed after I attended the presentation on the Naked Man Festival organized by UMEX on 27 February. The presentation was mainly on the origin of the Festival. We got to know about the Bishyamonten God, the IGUCHI family, BANZAI family – all major characters of the Festival. Looking at animated sketches of Mr. Haga, we were even able to have a good imagination of how the Festival is going to be. And the presentation became really inspirational when Professor Watanabe joined to talk about the Sasarasuri Song. I was told by Takeda-san before that there are many IUJers who love this festival, but there is no one who loves it more than Prof. Watanabe. And I had no choice but to fully agree with Takeda-san after attending the presentation. It turned out to be lively when Prof. sang the song and people were moving in a circle, hands on shoulder, saying “Sanyou, Sanyou”; exactly as the real scene of the Festival. Very impressive indeed! Thanks to UMEX for organizing that “explanation night” as it was called.

●キッズサロンの報告(2/28)

入り口に桃の花、サロン内は森本家ゆかりの女びな男びな、タペストリー、小さなひな人形達、折り紙の段飾りと、あでやかに彩られひな祭り一色です。牛木信一さんからおひな様や動物の折り方をみんなで教わりました。キリン・恐竜・パンダと子ども達の要望に応じて、次々に折り出す牛木さんの魔法の手に一同ビックリです。紙芝居は篠田ヒサさん、さすが元保育士。私はいつもこの紙芝居により、伝統行事の由来を勉強させてもらっています。その後、ラウンジで「ちらし寿司とお菓子」のティーパーティー。今回は外国のお友達には欠席でしたが、3名の新会員さんから子どもさん連れで参加いただきました。これからのキッズサロンでの交流に楽しみが増えました。(坂西)

●3月のキッズサロンの開催予定

日時 3月31日(水) 13:30から15:30
場所 UMEXサロン
内容 紙芝居 「春」

今回は春休みなので平日の昼間の開催となります。貴重なお休みの日にお子さんとか何かやってみたい事がありましたら、高橋の方までご連絡ください。(高橋) : yokunkokun@nyc.odn.ne.jp

●3月の母国紹介の開催予定

日時 3月23日(金) 19:30から
場所 UMEXサロン 講師 ツオロモンさん
モンゴルの母国紹介、モンゴル餃子の試食あり

Without it, I would have not been able to fully enjoy the Naked Man Festival – the unique and very impressive cultural event of Japan.
Reported by Ms. Thi Trung Hau Chu



毎年参加している「ささらすり」の魅力を熱く語る渡辺先生



オーロラの国からやってきたセッポさん、発表の後、フィンランドの写真集が夢っくすに寄贈されました。



キッズサロンひな祭りではキリン、恐竜、パンダなどの折り紙を教わって子供たちも大喜び



裸の羽賀さん、踊り子として応援に駆けつけてくださったお母さんと一緒に



裸押し合い祭りでの記念撮影



多言語支援部会

●Chat in English英語で話しましょう

3月14日午後2時から第1回Chat in Englishを開催しました。参加者は日本人11名、留学生13名と予想以上の大盛況。4グループに分かれ、クロスワードパズルに取り組みました。留学生は英語でヒントを与え、日本人参加者が答えを記入するという仕掛けです。チームごとに回答スピードを競うことから、徐々に会場はヒートアップ。言葉で伝えきれないところはジェスチャーで補うなど、終始笑いの絶えない楽しい会になりました。次回は4月25日の予定です。(柳瀬、武田)

●英語チュータープログラム

2月から約2ヶ月間、大学生活最後の春休みを利用して、英語チュータープログラムをお願いしました。チューターは、アントンさんという韓国系ウズベキスタン人の男性です。授業では、英文法や単語、熟語などを教えてもらっています。また時には、私の希望で、アメリカのAFNニュースのカセットを使って授業しています。この授業を通して、改めて英語で話す事の難しさを感じました。伝えたいことを上手く話せず、もどかしい時もありますが、そんな私に、授業を延長してしっかり教えて下さり、大変感謝しています。4月からは社会人のため、私の住む長岡から、週一回このプログラムを続けるのは、難しいですが、仕事に慣れてきたら、またぜひお願いしたいと思っています。なお、仕事は英語関係なので、ここで学んだことを業務に活かしていきたいと思っています。

また牛木久美子さんには駅まで送って頂いたり、色々教えて頂いたり大変お世話になりました。またこの次に、皆様にお会いできる事を楽しみにしております。(荒木陽子)

研修部会

●国際理解教育講演会の報告

「帰国・外国人児童生徒と共に進める教育の国際化推進地域事業」による国際理解教育講演会が、2月21日大和町役場において開催された。出席者は小中学校の先生方をはじめとして、夢っくすからも会員6人が参加した。講師の「中村正董」は元新潟大学留学生センターに5年間の経験より学んだ教訓を基に話をしてくれた。その中でも印象に残ったことは、

- ・留学生の孤独と困難
- ・到着日から生活に困っていること
- ・日本人は世界最強の言語能力民族である
- ・不必要は習得の敵

本人の経験によると、毎日2年間聞くことにより7カ国の言語を習得したとのことでした。

(井口)

ホームページをご覧ください
<http://umex.ne.jp>

●日本語研修会参加レポート

自分は今年夢っくすに入ったばかりです。今回初めてベテランの方々と一緒に長岡で開催された研修会「日本語の教え方の基本とコミュニケーションのコツ」に参加させていただきました。会場には大勢の方々に来ていて、最初はとても緊張しました。始めてみると松尾恭子先生のとても丁寧で判り易く、終始「日本語を覚えようとする人の身になって」という教え方が印象的で、大変参考になりました。日本語を教えるということだけでなく、まず相手とのコミュニケーションがとても大切なのだということも学べました。自分たちの母語である日本語を、教えるという立場で勉強し直すと、日本語の意味、使い方など、自分にとっても勉強になることばかりでした。二日目には実際に在日外国人の方々を招いての交流会があり、習ったことを実践という形で経験でき、とても内容の濃い研修会でした。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。(大平雄一郎)

事業部会

●ホームビジット受入レポート

那須義定さん/イミ子さん宅

2月9日、妻が「夢っくす」で日本語を教えている縁で国際大学のタイからの留学生のアピチャイさんとインドからの留学生アミタブさんを拙宅に招待し歓談しました。タイを20回ちかく訪問している小生の友人等も話を聞きたいと参加しました。娘も英語の勉強のために同席し賑やかに談笑しました。小生もインドの古い時代の『矢』についてアミタブさんから貴重なお話を聞くことができ大変喜んでいました。友人の中見川さんはタイ語を駆使してアピチャイさんと話す場面もみられ国際交流の輪が広がりました。また、こういう機会を持てたらいいなと考えています。(那須義定)

イベント部会

会員の皆様に行き先の案を募集していたバス旅行ですが、秋間梅林、村上の人形様祭り、会津若松の3箇所に候補地を絞った後、学生の投票で「会津若松」に決定しました。3月27日7時に国際大学を出発し、鶴ヶ城、飯盛山、白虎隊記念館、流文焼き工房を見学し、夜7時ごろ帰校の予定です。募集定員は、学生35名、会員15名。会費は大人3500円、子ども3000円です。参加ご希望の方は、お早めに担当の久保田豊昌(090-5763-7903)又は事務局までご連絡下さい。定員になり次第締め切ります。



第1回Chat in English、クロスワードパズルに英語で挑戦



英語チュータープログラムペアの荒木さんとアントンさん



向かって左が日本語研修会参加レポートを書いてくれた太平洋さん



那須さん宅でのホームビジットの様子



日	月	火	水	木	金	土
14	15	16 夢っくすサロン	17	18	19 夢っくすサロン	20
21	22	23 夢っくすサロン 19:30母国紹介モンゴル	24	25	26 夢っくすサロン	27 7:00 会津若松バスツアー
28	29	30 夢っくすサロン	31 13:30 キッズサロン「春」	4/1	2 夢っくすサロン	3
4	5	6 夢っくすサロン	7	8	9 夢っくすサロン 19:30日本文化紹介 「結婚式」	10
11	12	13 夢っくすサロン	14	15	16 夢っくすサロン	17

会員紹介コーナー 第19回

①一番行きたい国②興味のある言語③趣味や特技④夢っくすですやってみ
たいことは⑤今やっている国際交流⑥一言どうぞ！

会員NO.193 関矢秋子さん

- ①トルコ ヨーロッパとアジアが合流して面白そう
- ②英語 日本語 ③テニス 山歩き
- ④いろんな国の人と会い、その国をもっと知りたい。
- ⑤会に入ったばかりなので イベントのお手伝い。国際雪合戦での餃子作り、露店の手伝いなどをさせていただきました。
- ⑥夢っくすで出会った方々はどの方もいろんな事に興味を持ってやっている楽しい人ばかり、刺激になります。これからよろしくね！



みんなで持ち寄った料理を囲んで英会話教室の打ち上げパーティをサロンで開きました。先生のバレリーさんの左となりが私です。

事務局だより

・会員番号132番までの方々に平成16年度会費の納入依頼を同封いたしました。納入期限は4月30日です。是非とも会員資格の更新をいただきたくお願い申し上げます。

・ユキちゃんに続き、新たに3月5日インドネシアからの留学生ジャマルさんとリタさんに男の子が誕生し、"HAIDAR YAMATO LAHAY" (ハイデル・ヤマト・ラハイ) と名づけられました。日本生まれの勇敢な子どもになるようにという願いが込められています。こうした大和町生まれの子どもたちが大きくなって、いつかこの地を訪問する日が来たら素敵だなあと考えています。

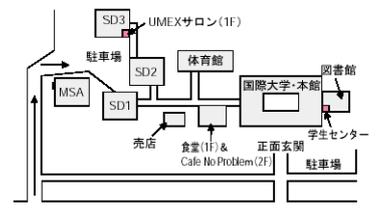


うおぬま国際交流協会

UONUMA Association for Multicultural EXchange



〒949-7277
新潟県南魚沼郡大和町大字穴地新田777番地
国際大学内 UMEX事務室国際交流サロン
TEL:025-779-1439/1520
FAX:025-779-1180
E-Mail: office@umex.ne.jp



[担当者連絡先]
サロン:坂西:025-777-3313 高橋:025-773-3123
広報:畔上:070-5083-8465 イベント:星野:090-4549-6955
押見:02579-2-9329 研修:井口:090-5329-8234
外国語:柳瀬:02579-2-0888 日本語:大平悦子:02579-2-9840
事業:大平智子025-777-3011 事務局:武田025-779-1439

事務局だよりのつづき

・金曜の昼サロンの鍵当番(午後1時から3時)を月に1回程度お引き受けいただける方を探しています。ご都合がつきそうな方は、担当の高橋和子025-773-3123又は事務局までご連絡下さい。

[編集後記]

かわらばんもめでたく20号を発行することができました。これも会員皆様のご協力と優秀な編集部員のおかげです。かわら版の経費削減を考えています。良いご意見がありましたらご提案してください。(aze)きよなら畔氏!(mayu)